

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第一中学校 会長名 豊島 大輔

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・「新しいP T A様式」を合言葉に、従来の事業内容にとらわれず、形を変えたり、感染予防策を徹底したりすることで、P T A事業を進めた。
- ・マチコミメールを活用し、総務会開催方法や各事業の開催方法の変更、中止について、周知した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視し、総務会を通常開催したり（会場は体育館）、縮小規模（顧問、会長、副会長、部長のみ）で開催したりした（2回）。
- ・奉仕活動を少人数で実施（3回：春1回、秋は2回に分けた）した。
- ・卒業生コサージュづくりについては、感染予防策を徹底し、予定通り実施（2回）。
- ・（三校合同）モルック大会（練習はできたが、当日は雨天による中止）を開催した。
- ・三校合同専門部会（成人教育部、体育保健部）を開催した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
－具体的な効果－

- ・コロナ禍でも実施できる方法を考え、例年ソフトバレーボール大会を実施していたものをモルック大会とした。3密を回避することができる競技であり、熱中症やケガの予防の観点からも適切なものであった。
- ・三校合同専門部会（成人教育部、体育保健部）を開催したことで、次年度の三校合同事業の共通理解を図ることができた。

－反省点－

- ・コロナウイルス感染症の急拡大で、P T A事業の中止を余儀なくされ、実施を見合わせた事業もあった。
- ・今年度もコロナ禍に伴い、多くのP T A事業を取止めすることになり、学校教職員や保護者同士のコミュニケーションや親睦を図ることができなかった。

－改善案－

- ・次年度も、「新しいP T A様式」を合言葉に、中止ではなく、従来の事業内容にとらわれず、形を変えたり、感染予防策を徹底したりすることで、P T A事業が少しでもできるように試行錯誤する。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第二中学校

会長名 藤田 卓志

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- (1) 執行部
 - ・三校合同事業（中止）
- (2) 成人教育部
 - ・P T A新聞発行
- (3) 体育保健部
 - ・スポーツフェスティバル巡視活動、交通整理（中止）
- (4) 環境整備部
 - ・奉仕作業（中止）
 - ・校内整備活動（中止）
 - ・古紙回収
- (5) 生活指導部
 - ・挨拶活動
 - ・スポーツフェスティバル巡視活動、交通整理（中止）
- (6) 家庭教育部
 - ・献血活動（中止）
 - ・給食試食会（中止）
 - ・コサージュ作成

取り組みの効果

- ① 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・PTA 新聞を2回発行することにより、コロナ禍で来校いただけない保護者や地域の方に学校の様子を伝えることができた。
- ・コンテナ常設型の古紙回収を2回行った。回収量は少なかったが、面談期間で保護者が来校する時期に合わせ、ご協力いただいた。
- ・朝の挨拶運動ではコロナ禍で限られた期間しか実施できなかったが、生徒の登校の様子を見たり、声掛けをしたりすることで、生徒の一日のスタートへの励ましとなった。
- ・卒業生へのコサージュづくりを行い、卒業生へのはなむけとなった。

・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校との協議も踏まえて活動中止の判断をせざるを得ない状況だったが、子どもたちのために各部の部長が段取りをつけ、役員が準備をして活動することができた。

－反省点－

・コンテナ常設型の古紙回収では、回収量が少なかった。
・今年度も活動できなかったことで、事業内容の引継ぎがスムーズに行うことができるのか不安を感じる。

－改善案－

・古紙回収ではコロナが明けたら以前行っていた地域を巡回して回収する方式とコンテナ情勢型とを併用して実施したい。
・従来通りの事業内容にとらわれず、新しい試みにチャレンジする、活動内容を見直す機会を作ることが、今後は必要である。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第三中学校 会長名 小泉 晃之

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

生活指導部：運動会見回り：中止

姫名の里祭りの見回り：中止

「かけこみ110番の家」の依頼

豊丘村りんご斡旋の手伝い：中止

県下一斉街頭補導（7月、12月）

体育保健部：原田地区生涯スポーツ キンボール大会：中止

運動会でのテント撤収作業：中止

豊丘りんご斡旋手伝い：中止

成人教育部：PTA新聞「季みどり」19号の原稿依頼・編集・発行

PTA新聞発行（「さみどり」106号・「さみどり」107号）

運動会手伝い（行事写真撮影、警備手伝い）：中止

豊丘りんご斡旋手伝い：中止

環境整備部：P T A奉仕作業（樹木の剪定・草取り）：中止

古紙回収（新聞・段ボール・雑誌）

豊丘村リンゴ斡旋の協力：中止

家庭教育委員会：玲瓏祭体育の部協力・制服バザー（昼休み）：中止

豊丘村リンゴ斡旋の協力：中止

卒業生へのコサージュ制作

3年生を送る会で卒業生にコサージュ贈呈

豊丘担当：アップラザのリンゴ消毒作業（5月上旬～8月 合計7回）

2年生豊丘事前打ち合わせ：中止

豊丘村勤労体験学習会・事後反省会：中止

豊丘村りんご斡旋：中止

P T A本部事業：第1回本部役員・常任委員会：中止

P T A総会（書面決議）

第2回～第4回本部役員・常任委員会

現新合同役員会・専門部会

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・毎年行っている豊丘村りんご斡旋はコロナ禍のため中止となった。また、奉仕作業も分散登校中であったため中止となった。古紙回収は、生徒、教職員、PTAが力を合わせて行うことができた。
- ・コロナ禍であったが、第2回～第4回本部役員・常任委員会と現新合同本部役員会・新専門部会には、多くの保護者の方々が参加し、学校の現状とPTA活動への取り組みを共有することができた。
- ・コサージュ作りを例年の図書室ではなく3年生の教室（3つの教室）で開催することで、感染症対策もしながらスムーズに活動することができた。

－反省点－

<各部からの報告>

・<本部役員>

新型コロナ感染拡大防止対策により、様々な行事が延期または中止となり、PTA活動もほとんどできませんでした。しかし、コロナ禍においてもPTAの各会合に御出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

・<生活指導部、体育保健部>

新型コロナ感染症蔓延防止対策により、ほとんどの活動が中止となり、体育保健部、生活指導部ともに活動ができませんでした。生活指導部では、かけこみ110番の依頼は継続中です。

・<成人教育部>

行事が少なかったことで、紙面上での写真の割合が多かったが、学校生活の様子がカラーで見えて良かったと好評だった。来年度も写真の割合を多めにしたい。

・<環境整備部>

奉仕作業は、緊急事態宣言によって、行うことができませんでした。古紙回収は予定通り行うことができましたが、収集や周知の方法については、反省点が残りました。

・<家庭教育部>

コサージュ作りは、多くの方に協力していただいたことで成功できたと思います。

・<豊丘部>

2年連続で通信販売になった。変更が決定してからの地域回覧等を準備する日程がきつかったが、トラブルもなく販売することができて良かった。

－改善案－

- ・PTA総会は書面決議とし、全体会を行わなかった。学校公開日の学級懇談会の始まる前に、PTA会長より放送でその旨を伝えてもらい、議決権行使書の提出により決議を行った。

- 年々生徒数が減少し、それと共に保護者数も減少となり、P T A役員を現状の人数を各地区から選出することが困難な状況にあるため、再来年度から体育保健部と生活指導部を合併して1つの部（生活体育部）とする。
- 各専門部で活動に必要な部員数を考え、各専門部の部員数を必要最低限の人数とすることで、各地区からの来年度のP T A役員選出への負担を軽減させた。
- 今年度も開催されなかったが、P T Aのつどいに展示する学校紹介壁新聞は無くしたらどうか。制作にかなりの時間を費やすことになるので、その負担を軽減したい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 元吉原中学校

会長名 川島隆裕

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・コロナの影響で、昨年につき、行事の変更、中止があった。
- ・生徒たちの熱中症予防のため、生徒用玄関南側にミストシャワーを設置した。
- ・奉仕作業は10月に、P T A役員、教職員のみで行った。
- ・廃品回収は昨年に引き続き、回収ボックスを学校の敷地内に設置して実施。
- ・挨拶運動を年3回、長期休業明けに実施。
- ・支部長会にて、P T A活動の課題を検討し、今後の活動方針の参考とした。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

- ・学校側の要望をヒアリングして、生徒たちのよりよい学校環境を目指して、熱中症予防のためのミストシャワーを、P T A特別会計にて設置した。初めての試みであったが、生徒会にて贈呈式を行っていただき、生徒たちの涼しげな姿を見ることができた。

ー反省点ー

- ・学校側からの要望をヒアリングして、支部長会にて意見集約を行い、業者の選定、見積徴収、ミストシャワー設置をするには時間がかかり、調整力が必要となる。日頃から学校側とのコミュニケーションと、支部長会での十分な議論を行っていく必要がある。

ー改善案ー

- ・P T A会長を中心とした、学校環境改善のための部会を設置し、議論する。
- ・コロナ禍において、事業ができない専門部もあるため、協力してもらいながら、年に一回または二年に一回程度、活動の再検討を行っていく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原東中学校 会長名 堤 進也

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

昨年に引き続きのコロナ禍であったため、多くの専門部で活動が制限されてしまった。

実施できたもの

- ・PTA 常任委員会
- ・健康安全部による早朝登校指導
- ・家庭教育部によるPTA バザー、卒業生へのプレゼント
- ・PTA 現新合同役員会
- ・PTA 監査

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

- ・PTA 常任委員会…専門部の活動を実施するかしないのかの判断ができた。学校の状況を校長先生からお聞きすることができた。
- ・早朝登校指導…交通安全の観点から、安全な歩行を徹底することができた。
- ・バザー…制服や体操服、ジャージなどは何枚あっても良いと好評。寝袋は普段使うものではないので、助かると好評であった。
- ・卒業生へのプレゼント…卒業式で用いるコサージュを用意した。制服との色を考え用意したため、華やかな式典となった。
- ・現新合同役員会…次年度の活動について、説明や担当の分担を行った。
- ・監査…PTA 会計ばかりでなく、保護者代表としてさまざまな会計の監査を行った。

— 反省点 —

- ・現状でできることを行った。ただ、行事や組織に対しては見直すべきところがあるように思う。

— 改善案 —

- ・吉原東中が残り次年度を含め、残り2年となった。PTA 組織を含めて、今後、吉原三中とのすり合わせが必要である。
- ・現状でできることを実施したため、コロナの早期収束とともに、通常の活動に戻していてもらいたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 須津中学校 会長名 小林 絵美

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

奉仕作業や各部による講座等を予定していましたが、コロナ禍にあり、各部の活動内容を中止せざるを得ませんでした。

そのような中で、現在の P T A 活動を見直そうと考えました。

まずは、年々、生徒数が減少している現状から役員を選出に苦勞している地区があることを鑑み、P T A 規約を改正し、地区の役員数に負担が偏らないようにしました。併せて、活動内容も見直しを行うことで、無理のない活動ができるようにしました。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

予定していた内容を中止せざるを得なかったことを通して、これまでの活動内容について見直しをする良い機会となりました。

特に規約を改正し、役員数の偏りについて見直しができることは、今後も P T A 活動を発展させていくことを考えると大きな成果だと考えます。

活動の一つ一つを検討する際に、学校、役員、会員が子どもたちの為にどうすることが一番よい形になるかと考えるきっかけが多々ありました。

－反省点－

コロナ禍にあった今年度は状況を鑑みて規約の改正等を行ってきましたが、様々な状況に対応できる規約に改正したり、活動を考えたりする必要性を強く感じました。

－改善案－

コロナ禍が続いていますが、収まった後も災害等の不測の事態が起こることもあるかもしれません。そういったときにも P T A 活動が持続できるようにしていくことが必要です。様々な状況の中でも活動ができるように、今後も状況に合わせて適宜、規約の見直しを行っていくことが大切だと感じます。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長名 藤田 貴樹

令和3年度重点活動の具体的な取組内容

- ・成人教育部 年2回のP T A新聞発行
三校合同教育講演会の実施（中止）
- ・生活指導部 校内・地区巡視および夜間の巡回とパトロール
家庭教育委員会の挨拶運動への協力
- ・環境整備部 古紙とアルミ缶の回収事業
奉仕作業活動（中止）
- ・体育保健部 P T Aと教職員の親睦球技大会（中止）
運動会への協力
- ・家庭教育委員会 朝の登校時における挨拶運動の実施
卒業生へのコサージュの準備
- ・P T A四役 3年生の合格祈願を行い、合格鉛筆を3年生に贈呈

取り組みの効果

1. **有**
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

多くの行事が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。思うように活動ができない中で「少しでも学校や生徒のために」という思いを大切にして活動を行うことができた。本年度も、大淵第一小・第二小学校と協力しアルミ缶・古紙回収を行って資金をつくり、卒業生のために「熱気球の係留飛行搭乗体験」を開催することができた。

「挨拶運動」は、生活指導部や四役と大変多くの保護者に協力をいただき、明るい学校となる効果があった。今後も、明るい学校を目指し、生活指導部の活動として実施していく予定である。

2回発行されたP T A新聞においては、規模を縮小し、行われた学校行事の様子を載せることで、各部の活動や生徒の学校生活の様子を伝える役割を果たした。

活動内容が限られることで、一部の役員に負担となっている状況や、今後の在籍生徒数の推移を考え、役割分担や活動内容を変更することで、「より良いP T A活動を今後も目指そう」という思いを高める効果があったのではと感じた。

—反省点—

夏休み明けの分散登校やまん延防止等重点措置の対応により、中止となった情報の伝達が思うようにいかないところがあり、関係の保護者にご迷惑をお掛けしてしまった。

—改善案—

コロナウイルスに限らず、天候等での急な日程変更など、情報の伝達については、滞ることなく行えなければならないので、ライデンメールや学校HPなどを活用し、スムーズに情報伝達ができるような工夫をしていきたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士中学校 会長名 松浦 紘枝

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 部によってばらつきのあった仕事量の分散。それに伴い、細分化された部の統一
- 2 役員会に毎回すべての部員が集まっていたが、必要な部のみ会合を行う形に変更
- 3 三年役の役員に駐車券を配布

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 1 成人教育部がすべての活動に参加し写真撮影と記事作成を行っていたものを、各部に分担することができたため、負担を同程度にすることができた。
- 2 各部の部員の負担を軽減することができた
- 3 特典を付けることでやる気に繋がった

—反省点—

- 1 昨年度、今年度とコロナウイルスの影響で行えなかった活動が多かったため活動経験がないまま引継ぎになってしまった部があることが不安
- 2 駐車券を配布したが、学校の駐車スペースの関係上すべてのイベントに使用できるというわけではなかった

—改善案—

- 1 統合された部内の連携と、PTA 新聞に関わる成人教育部との連携を見直し、今後最善な活動方法を見出してほしい

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦中学校 会長名 大竹史浩

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・総務会を合計9回開催（内1回 3役のみで開催）
- ・理事会、総役員会の開催（SNSの活用）
- ・役員選出ブロック編成及び専門部員数の変更
- ・古紙回収実施（第3回目の取り組みについて）
- ・あいさつ運動（あいつ場所の自由化）
- ・成人教育部の制服バザー（地域行事への取り組み）

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

※新型コロナ感染防止の中で何か P T A 活動を行ないたい、継続したいと考えたことが新しい取り組みになったと思っています。

- ・総務会開催は重要事項や確認の際、「まん延防止期間中」は3役開催としたが、SNSで十分に周知ができた。
- ・理事会、総役員会は時短開催として内容確認など不明な点は SNS を活用して直接やり取りするなどの詳細確認ができる効果があった。
- ・役員選出は会長職の一本釣りからブロック制へ変更、専門部員数の削減により全員の作業負担が軽減となった。
- ・古紙回収は年3回予定であったが第3回古紙回収では期間を決め、学校の構内に設置したリサイクルボックスのみの活動ができた。
- ・例年、制服バザーを学校構内で行っていたが、地域行事の「たごっこ市」で開催し、喜ばれた。

－反省点－

－改善案－

- ・2年連続で開催できない活動があり、引継ぎが書面や写真のみになっている。昨今の社会情勢も想定に入れ動画等の活動記録を必要と考える。

以上

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松中学校

会長名 笠井 俊幸

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

これからのPTAの在り方についての検討。

『なり手不足』や『PTA 不要論』などが叫ばれる昨今、学校と家庭・地域の架け橋となるPTAの存在意義はまだまだあると思っている。活動の精選や、職員・PTA役員の負担軽減をはかり、今後も継続可能なPTAの在り方を検討していく。

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度だけでなく前年度からの2年間、ほぼ活動ができなかった。この2年間活動が行えないことで、これまでの活動の必要性を再確認できた。活動の意義を考えることができ見直しの必要性が強く感じられた。

また、活動の見直しを通して部員の削減が見込めた。各地区から選出される部員は、仕方なく選ばれたからやらなければならないという考えの方が多し、選出時の各地区の苦勞も多いので、各地区の部員削減は、継続的にPTAを運営していくのに必要な事項と考えられる。

－反省点－

2年間活動が行えなかった行事などがある為、来年度活動再開となった時、実際に経験のある役員や部員が少なくなってしまう為、引継ぎが難しい。

部会などの会合も中止としてしまった為、話し合いが行えなかった。

－改善案－

例年、活動の継続が目的になってしまっている為、会合での話し合いも活動をどう運営するか重点が置かれ、活動自体の在り方についての話し合いが行われてこなかった。今後、少しずつでも活動の是非や部員削減などPTAの在り方についての話し合いも、もっていきたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南中学校 会長名 齊藤 賢輔

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・PTA 新聞発行
- ・運動会受付時検温
- ・古紙回収
- ・三校合同事業（中止）

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・今年度もコロナ禍の中で様々な活動が制限されたが、今後の PTA 活動を見直す機会となった
- ・古紙回収は従来の方法と替えてコンテナ設置にし、回収時の密を避けた
- ・PTA 新聞を発行し、PTA 活動の周知をした

－反省点－

- ・古紙回収では、地域を回って回収することをしなかったため、収益がかなりの減収となった。
- ・活動のある部とそうでない部ができてしまった。
- ・今年度、三校合同事業として～東日本大震災から 10 年～被災体験から学ぶ防災啓発講演を企画していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となってしまった。

－改善案－

- ・新型コロナウイルス対応のため、今年度も古紙回収はコンテナ設置方式の回収とした。回収時の負担は軽減されたが、収益も大きく減ってしまった。
- 次年度は地域を回って回収することとした。回収量を増やせるよう、今まで以上に地域の方にも周知徹底していきたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡中学校 会長名 植松 貞治

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

○ P T A 活動の内容精選と役員数の削減について

コロナ禍での2年間に P T A 活動が実施できなかったことから、令和4年度にはコロナ以前の活動を知る P T A がほぼ在籍しなくなることや、実際に活動しなくても困らない活動などが見えてきたことから、今年度中の P T A 活動の精選が課題となった。

並びに、P T A 活動が生涯学習や子供会などの地域の活動と結びき、活動内容が拡大しすぎていることから、負担の多い P T A 役員を確保できなくなっている。また、働き方改革の観点からも、朝の挨拶運動など出勤時間を遅らせなければならない活動は精選していくことにした。

○ コロナ禍での活動継続

活動内容の精選と並行して、コロナ禍でもできる活動に変更して実施した。

環境整備部の奉仕作業では、運動会前の大清掃ではなく、トイレ清掃に変えて実施した。体育保健部の球技大会は、数日にわたって開催する試合形式ではなく、交流会形式に変更して実施。生活指導部のかけこみ110番のプレート点検は手紙でのやり取りに変更した。また、成人教育部の P T A 新聞の発行や、家庭教育委員会の給食試食会などは人数を絞って実施した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

昨年度は、各地域から P T A 役員を出せなかったり、なかなか決まらずに役員に選出されると泣き出してしまったりと、P T A 役員を決めることが最大の難題でした。しかし、今年度は役員数を半数以下に削減して仕事内容を精選したことで、各地区理事がそれを説明し、かなりスムーズに人選が進んだという成果がありました。

さらに、できる範囲でやれることを継続して行こうという P T A 役員間で前向きな雰囲気作りができました。

— 改善案 —

現小学校6年生の保護者を P T A 役員に選出することも難しくなってきました。個人情報取り扱いの観点から新入生名簿を引き継ぐことができないことや、中学校受検などから各地区で誰が進学してくるかわからなくなっており、毎年2年生の保護者が1年交代で P T A 役員を行うなどの改善案が出ました。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校

会長名 伊藤 秀彦

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

新型コロナウイルス感染防止を踏まえた活動への転換

- ・三校合同の通学路親子清掃活動
- ・事前申し込み制による学校用品限定バザー
- ・卒業生のドローン撮影企画提案
- ・生活指導部あいさつ運動

〈その他実施事業〉

- ・P T A新聞3回発行
- ・古紙回収（回収ステーションへの設置3回、回収活動1回）
- ・下校時見守り活動
- ・通学路あいさつ運動
- ・卒業生へのコサージュ作り

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

年間を通して新型コロナウイルス感染防止を最優先とした結果、表立った活動は減ったが、三密回避可能な活動、学校への提案活動に移行できた。

また、多くの学校行事や各種大会等が中止・縮小された中、子ども達、特に卒業生の思い出作りに寄与するためドローンによる撮影を提案。撮影方法、撮影した動画の活用方法などを先生方と卒業生と一緒に考えてもらい進めたことで、とてもいい思い出になったとの感想を得た。

－反省点－

会議や活動準備等に例年以上の時間を要したため、役員や一部の先生方にはご負担をかけてしまった。

－改善案－

今年は1年を通して、表立った活動を控えたため、親子の触れあいは必然的に下がってしまった。来年度は状況を見ながら、保護者も一緒に活動に参加する、触れ合えるような活動に転換できるといいと思う。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原北中学校 会長名 渡邊 浩平

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・PTA バザー
- ・PTA 新聞の発行
- ・奉仕作業（中止）

取り組みの効果 有

－具体的な効果－

PTA バザー

卒業生の制服やジャージを販売し好評だった。

PTA 新聞

PTA 活動や学校職員について紹介することができた。

PTA 新聞の発行を1回にして、負担軽減を図った。

－改善案－

特になし

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第一中学校 会長名 杉本 聡

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 【本部】 ・本部、学校間の連携強化（コロナ禍での活動の精選のために理事会の打ち合わせを含め適宜必要な連絡を取り合った）
P T A役員選出方法の検討・改定 新しい体操服や制服の検討
- 【生活指導部】 ・春季交通安全あいさつ運動
- 【環境整備・
体育保健部】 ・学校保健委員会（2回） 思春講座（1回）
・愛校作業（学校敷地内の除草作業）
- 【成人教育部】 ・機関紙「ゆうかり」の発行
- 【家庭教育員会】 ・制服等リサイクル品の回収（バザーは中止）
・本部として打ち合わせに参加

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 【本部】 ・コロナで各活動が制限される状況の中、相談しながら学校行事やP T A活動の精選や代替を行うことができた。
・体操服や制服の変更について相談し、新しいデザインの体操服を決定することができた。
・役員の選出方法について保護者全体にアンケートをとり、本部で検討した結果、次年度は今までの地域選出から学年選出に変更することになった。また活動の見直しも行い、負担の大きい P T A 活動を削減またはやり方の変更をした。（令和4年度より）
- 【生活指導部】 ・春季交通安全・あいさつ運動では、動員人数を減らし規模を縮小して行った。正門前では多くの生徒と挨拶を交わすことができた。
- 【環境整備・
体育保健部】 ・今回の奉仕作業は教員と保護者のみで行った。やるべき場所が多く時間内にすべて終えることができなかったが、全体が終了した後、部員さんを中心に残って作業を行い、きれいにすることができた。
- 【成人教育部】 ・実行できた P T A 活動や学校行事等を取り上げ、生徒の活躍を発信することができた。ゆうかりの発行部数を減らした。
- 【家庭教育員会】 ・今年度はバザーを行うことができなかったが、次年度に向けてリサイクル品の回収は行った。本部として学校と連携を取り、様々な協議に参加し、体操服や制服の見直しなどの検討を行った。

—反省点—

—改善案—

- 【本部】 ・ 役員の選出を学年に変更にするにあたり、その具体的な方法にはまだ課題があるので検討中。おおまかな方向性としては、毎年新2年生から選出。（1年生の2月上旬にある保護者会で選出。）会長、副会長以外の役員は全員1年で交代とする。（2年残らなくても継続可能になるように大変な活動は来年度から大幅に変更予定）
- 【生活指導部】 ・ あいさつ運動の分担場所を生徒のよく通る場所2か所に絞った。そのため、部員はもう少し減らすことが可能と思われる。
- 【成人教育部】 ・ 令和4年度は、機関紙「ゆうかり」の発行をやめ、ホームページに新聞を作成していく予定。
- 【家庭教育員会】 ・ 負担がとてもしばしばをなくし、寄付してもらった制服については学校で対応することにした。
・ コサージュについては手作りにせず、今後完成品を購入することにした。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第二中学校 会長名 二又川 武政

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・コロナウイルス感染症防止のため行事等が中止になり、具体的な取り組みは特になし。
- 唯一、新校舎建築現場ツアーを行った。

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・生徒が新校舎完成への期待を膨らませていた。
- ・多くの生徒が、今まで以上に各学年と交流を持ちたいという気持ちになった。

—反省点—

- ・コロナ禍でも行っていける内容を検討していくことも必要。

—改善案—

- ・令和4年度から、施設一体となるので、小学校と中学校合同で行えるものがあれば行っていきたいと考えている。そのひとつとして、小中合同でクリーン作戦（奉仕作業）を検討している。